



産業廃棄物処理計画実施状況報告書等提出シート

下記 1 の書類について、別添のとおり提出します。

記

1 提出書類 ＜該当を選択＞	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画書 (PDF ・ 書類 1 部) <input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF ・ 書類 部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画書 (PDF ・ 書類 部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF ・ 書類 部)
2 提出者	(住所) 〒 661 - 0953 兵庫県尼崎市東園田町 6 丁目 96-5-106 (名称・代表者氏名) 株式会社大永建設 代表取締役 徐 彰宣
3 対象事業場	(所在地) 尼崎市内一円 (名称) 尼崎市内各工事現場 (事業場コード(6桁)) 200273
4 事業場データ (報告データ)	(業種コード(4桁)) 06 (業種名) 総合工事業 (フレーム: 完成工事高) ¥750,000,000 万円 (廃棄物発生場所地域名) <該当地域に○印をしてください。>※ 11 神戸市、 <u>12 尼崎市</u> 、13 姫路市、14 西宮市、 21 阪神南、22 阪神北、23 東播磨、24 北播磨、25 中播磨、26 西播磨、 27 但馬、28 丹波、29 淡路 ※ 地域は政令市・県民局単位。複数地域にまたがる場合、第2面は地域ごとに作成ください。
5 ご担当者	(所属) 総務課 (氏名) 巽 正憲 (電話) 06-6498-0161 (FAX) 06-6423-8115 080-7038-8360 (E-mail) t-m-1807@daiei-c.co.jp

(建設業)

本用紙は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 11 項及び第 12 条の 2 第 12 項で定める公表対象の様式ではありませんので、同法により公表することはありません。

ただし、別添の様式はすべて公表されますので、別添の様式中に個人情報等を記載しないようご注意ください。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 26日

尼崎市長 殿

提出者



住所 兵庫県尼崎市東園田町6-96-5-106

氏名 株式会社 大永建設
代表取締役 徐 彰宣

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6498-0161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	尼崎市内各工事現場
事業場の所在地	尼崎市内一円
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	令和4年度売上高 7億5千万円
③従業員数	18人(令和5年4月現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 事前に設計数量等を確認し余分に排出しないように管理する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り産業廃棄物の発生が少ない施工をするようにして削減する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各現場で 1500 がれき類/0800 木くず/2010 建築系混合廃棄物（安定型のみ）（廃プラスチック類・がれき類）を可能な限り分別した。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き各現場で 1500 がれき類/0800 木くず/2010 建築系混合廃棄物（安定型のみ）（廃プラスチック類・がれき類）を可能な限り分別する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用できる産業廃棄物(1500がれき類・0800木くず)に関しては全量再生利用業者に委託し、一部の産業廃棄物(0800木くず・2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ)(廃プラスチック類・がれき類))は全量優良認定処理業者に委託を行った。		

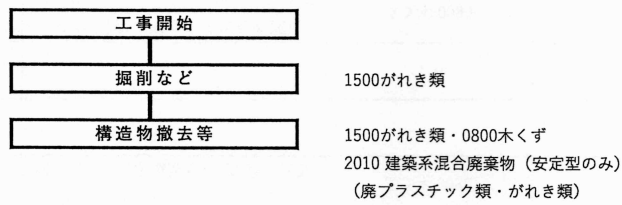
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き再生利用できる産業廃棄物(1500がれき類・0800木くず)に関しては全量再生利用業者に委託し、一部の産業廃棄物(0800木くず・2010建築系混合廃棄物(安定型のみ)(廃プラスチック類・がれき類))は全量優良認定処理業者に委託を行う。</p>		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

○産業廃棄物の一連の処理の工程



1500 がれき類

収集運搬<自社運搬等> → 破碎<㈱阪神アスコン等>
→再生砕石などにして再利用

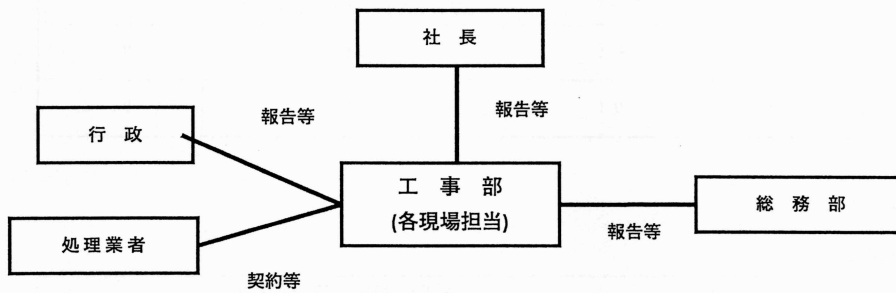
0800 木くず

収集運搬<自社運搬等> → 破碎<泉興業㈱等>
→木質チップとして再利用

2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)

収集運搬<自社運搬等> → 破碎<泉興業㈱等>
→安定型埋立として処理

○産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



○産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状 前年度実績<令和4年度>

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
排出量	1556.72 t	0.32 t	2.55 t	1559.59 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
排出量	1500 t	0.30 t	2 t	1502.30 t

○自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状 前年度実績<令和4年度>

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

○自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状 前年度実績<令和4年度>

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

○自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状 前年度実績<令和4年度>

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

計画 目標

産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t

○産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状		前年度実績<令和4年度>		
産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
全処理委託量	1556.72 t	0.32 t	2.55 t	1559.59 t
優良認定業者への 処理委託量	0 t	0.32 t	2.55 t	2.87 t
再生利用業者への 処理委託量	1556.72 t	0.32 t	0 t	1557.04 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t

計画		目標		
産業廃棄物の種類	1500 がれき類	0800 木くず	2010 建築系混合廃棄物(安定型のみ) (廃プラスチック類・がれき類)	合計
全処理委託量	1500 t	0.30 t	2.00 t	1502.30 t
優良認定業者への 処理委託量	0 t	0.30 t	2 t	2.30 t
再生利用業者への 処理委託量	1500 t	0.30 t	0 t	1500.30 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t